



研究テーマ

実践方法論の意識的適用・神経難病患者への看護

【キーワード：ナイチンゲール看護論 修得過程
神経難病看護】

領域・氏名

看護（基礎看護学） 特任教授／ 山岸仁美

概要

ナイチンゲール看護論を土台とした、看護実践能力の修得過程を高めるための教育・実践研究を行っています。看護職者の認識に、理論枠組みがどのように形成されているかを意識化することが、表現技術を高めることにつながるという立場から研究をおこなってきています。さらに、神経難病患者への日々のケアを支える看護職者の認識に焦点をあてた研究を進めています。

具体的な内容

基礎教育における学生の実践方法論の意識的適用のあり方を、講義・演習・実習における学生の成長過程として浮き彫りにする研究を行っています。さらに、現場での看護職者との事例検討を積み重ねることでの成長過程を、看護実践を対象と看護者のと関わりまると事実的にとらえ分析する手法を用いて明らかにしていきます。神経難病をもつ対象特性にそった、看護実践のあり方を、看護職者のインタビューをもとに概念化するという取り組みに着手しています。

Information（情報）

事例検討会を施設や学習会で行っています。看護実践を対象と看護者との関わりの具体的事実をもとに、関わりの対象にとっての意味と対象への看護の方向性を見出し実践につなげるという学びは、現場の看護の質と看護者が自負心をもって実践を行いチーム力が高まることを日々実感しています。